

## 三陸鉄道に關係する皆さんへの「ご挨拶」

4月3日、三陸鉄道南リアス線の盛・吉浜間が運転再開されました。

昨年、国労静岡地方本部および關係する方々が、「よみがえれ三陸鉄道！ミニSL運転被災地激励実行委員会」を立ち上げ、4月21日から25日にかけて現地でミニSL運転会を行いました。（その時の模様は、「報告集」として本ホームページに掲載してあります）

今回、三陸鉄道が一部再開されたことを受けて、実行委員会と静岡地方本部の連名で、三陸鉄道に關係するみなさんへ「ご挨拶」が送られました。その「ご挨拶」を次ページに掲載します。（下の写真は「報告集」の一部です）



2012年3月19日（撮影） 盛駅

（左）津波（塩害）の影響で走行が不可能になり放置されていた。

（右）2012年4月22日（日）宮古市立宮古小学校での運転会の様子



2013年4月3日 盛・吉浜間が復旧した。

吉浜・釜石間など来年春の運転再開を目指している。



（左）2012年4月24日（火）釜石市立平田小学校での運転会の様子

（右）「よみがえれ三陸鉄道！被災地激励ミニSL運転会」で  
運転されたミニSL



## ご挨拶

軽暖の候、皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

静岡では、すでに桜の時期を過ぎ、新茶の季節を迎えようとしています。三陸地方はいかがでしょう。

三陸地方の沿岸部では、津波の傷痕が残り、崩壊した堤防が取り残され、家が立ち並んでいた街並みは空き地となり、いまだ復旧の手が届かず閑散とした状況を報道で目にします。

地元の皆様にとって、三陸鉄道の復旧が震災からの復興にとって重要な課題ではないかという事で、昨年ミニSL運転会でおじゃまして頂きました。参加者一同、皆様方に支えられ実施できたこと。元気を頂いたことに改めて感謝を申し上げます。

地域の皆様、更には全国の皆様の三陸鉄道復旧にかける思いと、関係者の並々ならぬご努力により、4月3日、三陸鉄道南リアス線盛・吉浜間の運転再開がされたことを心からお喜び申し上げるとともに、昼夜を分かたずのご苦勞に敬意を表す次第です。

来年4月の三陸鉄道全線復活に向け、公共交通の要である鉄道を生かした街づくり、利用者拡大などの諸課題もあると思いますが、地元の鉄道・地域を支える足として、三陸鉄道の果たす役割は重要ではなかとと思います。

更には、地域の産業、暮らしを再生・発展させるため、皆さんの英知を集め一日も早い復興を心から祈念申し上げます。

ささやかですが静岡でも、三陸鉄道支援を中心に取り組みを継続させたいと考えています。お忙しいとは存じますがご相談・お願いをさせていただく事もあろうかと思いますのでよろしくお願いいたします。

皆様方の益々のご活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

2013年4月4日

よみがえれ三陸鉄道！

ミニSL運転被災地激励実行委員会

代 表 室伏 雄二

国鉄労働組合静岡地方本部

執行委員長 杉本 洋一